

健大通信



【編集・発行】高崎健康福祉大学 〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1 <https://www.takasaki-u.ac.jp>



TOPICS

Well-being 社会をリードする健大に！

学校法人 高崎健康福祉大学
副学長
石田 朋靖 Tomoyasu Ishida

“三波石と共に名高い冬桜”と上毛かるたに詠まれた鬼石町(現 藤岡市)で生まれ育った田舎の子を、高校三年間の自由奔放な下宿生活(乗附町でした!)の中で育て、自我に目覚めさせ、羽ばたかせてくれた高崎の地に、およそ半世紀ぶりで舞い戻ってきました。高崎の街が、伝統的な文化活動も踏まえた巧みな都市計画によって、三月まで住んでいた宇都宮よりも遥かに魅力的に変貌していたのは嬉しい驚きでした。そして、東京での10年の学生生活に続き、山形大学と宇都宮大学合わせて38年に及んだ大学生活を経て、教育者としての最後を思い出深い地で送ることになりました。須藤賢一理事長・学長先生からのお招きに感謝すると共に、群馬、高崎との強い縁を感じています。

健大に来て半年、これまで身を置いた三つの国立大学での教育研究経験、副学長や学長としてのガバナンス経験を持った眼から見て、最も印象深かったのは、学生に寄り添った教育の伝統でした。大学が第一義的に教育機関である以上、大学の価値は、いかに優れた人材を社会に輩出するかにかかっています。時代とともに教育の手法が変わったとしても、教育は人が人を育てる行為であり、学生たちの視点に立ち、一人一人の個性や思いに心を配った教育、すなわち学生に寄り添った教育こそ最も大切なポイントです。そうしたポイントを押さえるため、例えば健大では5-10名程度の学生ごとにアドバイザー教員がついて学生をサポートしています。モチベーションを見失い学業不振に陥り気味な学生には速やかに教員からアプローチし、メンタル面が不安定になりがちな若者たちをきめ細かくサポートする教育体制、これが各種資格の国家試験合格率が全国トップクラスの実績につながる、地域から信頼を得ていることを実感しました。そしてそれを支えているのは、ST比(一人の専任教員あたりの学部学生数)が何と宇都宮大学のような地方国立大学と同程度で、都内のマンモス私大の約3倍の比率の教員で教育を行うという分厚い教員体制です。冗談っぽく言えば、学生にとって“極めてお買い得”な大学であり、大切に守っていかねばならない伝統と体制だと感じています。

さて、ご存じのように大学をめぐる情勢は年々厳しさを増しています。先日の報道では本年度に定員割れを起こした私立大学は全国で46%、都内に限っても33%に及んだといいます。さらに出生者数が予想以上のスピードで減少し、20年後の18歳人口は現在の65%以下になります。こうしたことを考えると、私立大学の学生確保は厳しさを増し、さらに国立公立私立を問わず大学間の競争や淘汰が進んでいくことは間違いありません。しかし、私は健大が確実に競争に勝ち残る大学、発展する十分なポテンシャルを持った大学だと強く感じています。それは、一つには自利利他の精神で「人類の健康と福祉に貢献する」という建学の理念のもとに展開してきた“学問分野の構成”、さらには先ほど述べた“学生に寄り添った教育の伝統”という二つの強みがあるからです。

まずは“学問分野の構成”についてです。人類が安定してこの世界で暮らし続けられるように、2030年までに達成すべきゴールとして国連によって

エスティーゼス
SDGs(持続可能な開発目標)が定められました。このゴールに向けて世界各国の組織や個人で具体的な活動が進められ、健大でもSDGsを意識したカリキュラムや授業内容の検討が行われているのはご存じのとおりです。では2030年SDGsの先につながるゴールはどんなものなのか?そこで注目されているのがWell-being(ウェルビーイング)、すなわち身体的・精神的・社会的な健康(良好さ)によって支えられた満足感や幸福感です。すでにWell-beingの共創をターゲットにした鎌倉市のスマートシティ構想なども発表されていますが、そこで身体的健康を支える社会生活環境として挙げられているのは医療/健康、介護福祉に加え、教育、食と流通、自然環境です。まさに健大が展開してきた学問分野の構成そのもので、健大がWell-beingの根幹を広くカバーした健康福祉の総合大学だと強く実感しています。各分野が独立した単科大学的に進むのではなく、総合大学としての健大の良さを生かし、分野の壁を越えて有機的につながった人材育成体制、それを支える分野融合研究が一段と進むなら、健大はWell-being社会をリードし確実に勝ち残り発展していく大学だと確信しています。

次は“学生に寄り添った教育の伝統”についてです。いま大学を中心とする全ての高等教育機関では、卒業後も自律的に学び続けながら自分をプロデュースし予測困難な時代を生き抜いていく、自己教育力のある学生を育てることを目指して、教育改革が進められています。そこでは単に専門的な素養に加えて、文理や分野を超えた幅広い知識・理解の養成、時代の変化に対応できる論理的思考力などが求められています。こうした点は、先に述べた総合大学としての強み、理論と実践の往還という実学の強みを活かせば健大としては十分に対応できますし、各大学も知恵を絞っています。しかし、本当に難しいのは、改革の根源にある“学修者本位の教育”、すなわち何を教えたかではなく学生が何を身に付けたかという観点に立った教育です。学修目標や成果を可視化して学生に示し、あるいは学生相談室やオフィスアワーを設けて学生の悩みに応え、学生やステークホルダーの方々からアンケートを取って改善をする、こういった内容の改革はこの大学でも始めていますし、“学修者本位”に形式的に対応することは、手間はかかるが難しいことではありません。しかし、“学修者本位の教育”にとって最も重要で難しいのは、親身に学生に寄り添って育てるといった教職員のマインドの醸成で、これがなければ、文部科学省や社会に対する証拠づくりのための意味のない改革になってしまいます。そして、まさにこのマインドこそ健大が伝統的に守ってきた強みであり、今後さらに必要となる強みだと思っております。

健大は決して規模が大きな大学ではありません。しかし厳しい大学間競争の中にあっても確実に勝ち残り、Well-being社会をリードする“持続的な”大学として地域に有為な人材を輩出し続けることができる大学です。互いの顔が見える組織、“Small is beautiful.”な組織の中で、すべての構成員の方々と手を携え、強みをさらに強め、教育者としての最後の仕事にチャレンジしたいと願っています。

学科 Topics

01

健康・医療領域のデジタルトランスフォーメーションを推進する人材養成を目指して

医療情報学科 学科長 東福寺 幾夫

最近デジタルトランスフォーメーション(DX)という言葉をよく聞きます。その意味は、情報通信技術(ICT)を使って社会や生活をより便利に、安全に、快適にすることと解釈できます。

医療の現場では電子カルテ、画像診断や遠隔医療などICTが広く応用されています。医療の更なる効率化と質の向上を実現するためのICT応用が医療DXです。しかしDXを推進するうえで大きな課題となっているのが、健康・医療の領域を良く知り、情報システムの企画、開発、運用等を担う人材の不足です。

医療情報学科は、健康・医療に関する専門知識と先端の情報技術を兼ね備えた健康・医療分野の情報化を担う人材を養成することを目的としております。そこで本学科では学びの重点を、医療現場における情報の管理と活用に着目し、医療現場における情報システムの構築や情報処理に置く情報システムコースを設けています。履修コースの区分は緩やかなもので、医療系と情報系両方の資格を取得する学生も少なくありません。

下表は本学科の学修成果の一端を示す主要資格取得実績です。診療情報管理士は病院への就職に有利で人気の資格です。毎年30人前後の合格者を出し合格率も全国の養成大学のトップクラスを維持しています。学内で実施される医療事務管理士認定試験は、医療コース全員合格を目指しています。情報系の3つの資格は何れも国家資格です。ITパスポートは履修コースを問わず全員合格を目指しています。

本学は全国唯一の試験会場大学ですが、残念ながら令和2年度はコロナ禍で試験開催回数が少なく合格者も少数に留まりました。基本情報処理技術者は情報系の職種では一目置かれる資格で、本学は午前試験免除認定校となっています。この試験も令和2年度から方式が変わりましたが、本学学生はよく対応し、合格者が大幅に増加しました。情報セキュリティマネジメントは新たな資格試験ですが、関係カリキュラムを充実させ、合格者の増加を目指します。

開学以来17期生まで1140人が、これら資格を一人平均1.3個取得し本学科から巣立ちました。この実績をさらに発展させ、健康・医療領域のDXを推進する人材を育成して参ります。

実施年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	累計
資格名称								
診療情報管理士	33	30	24	30	26	27	29	315
医科医療事務管理士	50	52	61	39	46	38	42	617
ITパスポート	41	58	42	64	83	49	13	486
基本情報技術者	5	8	9	6	4	6	17	77
情報セキュリティマネジメント			6	4	3	9	1	23

▲ 本学科学生の主要資格取得状況推移 (単位: 人)

学科 Topics

02

自律的な学びの場としての国家試験対策

社会福祉学科 教授 永田 理香

社会福祉学科では、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士国家資格取得に向けた対策講座を実施しています。その中でも社会福祉士国家試験は非常に難易度が高く、全国の合格率は毎年30%前後となっています。

本学科では、国家試験対策を「学生が自律的に学ぶ場」と位置付け、学習課題の達成に向けて自らの行動を能動的に変化させていくプロセス(自己調整学習)を重視しています。その結果、本学科の合格率は、2019年度85.4%、2020年度87.8%と上昇し、多くの学生たちが国家資格だけでなく、目標達成に向けてやり抜くことができたという「自信」を持って福祉現場に立つことができています。

以前からタブレットを活用したICT教材を取り入れ、コロナ禍においても安定した学習活動を行っていますが、今年度からは、新しいeラーニングシステムを導入し、学習履歴の可視化がさらに効率よくできるようになりました。また、個別面談を定期的に行い、模試結果の分析に基づく学習方法の改善や就職活動との両立など、学生のお悩みや悩みに寄り添った支援を行っています。

今後も学生たちが自分の可能性を信じて努力できるような学びの場を整え、福祉分野発展に貢献できる専門性を

の高い人材を輩出できるように、国家試験対策をさらに充実させていきます。



▲ タブレットを活用したeラーニング



▲ 受験申込ガイダンスの様子

学科
Topics

03

コロナにめげるな！
第13回健康栄
養学科スポレク大会開催報告

健康栄養学科 准教授 大家 千枝子

健康栄養学科では、1～4年・大学院生、教員、卒業生が集まって、年に1回身体を動かし交流を深めることを目的としたスポーツ・レクリエーション大会を開催してきました。今年も新型コロナウイルス感染症状況・ワクチンの接種状況を考慮して、全体で集まるのイベント開催は断念し、代わりに各学年・クラス対抗による企画を実施しました。

出場したのは7チームで、1年と2年は各2チーム、3年と4年は各1チーム、大学院生と教員で1チームという内訳でした。合計217名がこのイベントに参加しました。

各チームでそれぞれに設定したスポレクDAYには、①握力チャレンジ、②サイコロチャレンジ、③下川学科長似顔絵コンテスト④重さ当てクイズ、⑤クイズ（教員企画）おまけ企画…誰に届く!?メッセージ交換を実施しました。また、参加チームは、スポレクWEEKと称した期間（7月5日～20日）に⑥階段チャレンジ（教員企画）⑦牛乳パック集め、に挑みました。それぞれの項目の成績を数値化して集計結果対決を行った結果、⑥の階段チャレンジで得点を稼いだ大学院生と教員チームの圧勝となりました。（※集められた牛乳パック553枚は学内のリサイクル資源回収ボランティアに役立てられました）

このイベントは毎年1～4年の各学年から選出されたメンバーが準備に約3か月かけて開催していますが、今年もなるべく密を防ぎつつ、短時間で実施するために、実施項目だけではなく、新た

な試みも加わりました。当日の様子や結果についても現在動画編集をしてきています。

実行委員の中心メンバーとして活躍してくれた2年生の須田さん、神戸さん、阿部さん、石川さん、一場さん、井野さん、川上さん、兵藤さん、お疲れさまでした。来年もスポーツ・レクリエーションで健康栄養学科の団結力を高めていきましょう。



▲ 重さ当てクイズ



▲ 握力チャレンジ



▲ 階段チャレンジ



▲ 1A スポレク委員



▲ 1B スポレク委員



▲ 2年Bクラス

学科
Topics

04

薬学部研究発表会

薬学部 教授 福地 守

薬学部では、研究室間の交流を目的として、平成25年度より9月と3月に研究会を開催しています。この研究会は、研究室の垣根を越えて自由に議論し、良い意味での競争心を高め、研究者としてお互いに切磋琢磨する場となっています。また、薬学研究科の大学院生も、研究の中間発表を兼ねて日頃の研究成果を発表しています。平成26年度からは、研究会開催を全学に案内することにより、薬学部教員のみでなく、他学部教員も参加するようになり、益々活発な議論が展開されるようになってきました。さらに、他学部や学外の講師による特別講演も開催しており、研究会の内容もより充実したものとなっています。

令和2年度は、COVID-19の影響により9月の研究会を中止し、また3月の研究会も薬学部内のみで規模を縮小して開催しました。しかし、令和3年9月6日の研究会は、オンライン開催にすることで、緊急事態宣言の中、従来どおりの研究会を開催することができました。今後も充実した内容の研究会を継続して実施する予定です。この研究会がきっかけとなり、薬学部内だけではなく、学部の垣根を越えて学際的な共同研究が生まれるかもしれませんので、他学部の方々のご参加も大歓迎です。



▲ 薬学部研究発表会の様子



▲ オンラインで開催した研究発表会

学科 Topics

05

社会の変化を支え先導する
看護専門職者の育成

看護学科 教務委員長 教授 吉田 久美子

●社会へ発信……リレー・フォー・ライフ(RFL)・ジャパン2021ぐんま「支援リレー動画」を作成

がん患者と家族を支援するRFLに、今年度は「健大チーム」として学生と教員で動画を撮影し参加しました。動画の仕上がりは、ぜひRFL群馬のホームページでご覧下さい。学生さん達は今回の経験を一つの契機とし、看護師としての未来像を描きながら成長してくれることと思います。

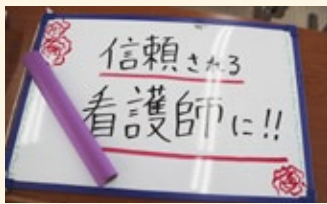
●多数の教職員が応援・参加……保健師課程の「健康教育の実践発表会」

例年、住民へ行う「健康教育」を、学内で多数の教職員を対象に実施しました。「フレイル予防」などをテーマとして、分かりやすいストーリーと、教職員への質問などで参加者を引き込み、笑いや拍手も多く一体感を創り上げていました。学生の熱心さと優しさは今後の看護実践にも反映すると思います。

●臨床実践能力の基礎力を学内実習で強化

看護学実習では、COVID-19の感染予防を行いながら、今後の医療を支える基礎力の強化に向け新たな取り組みを重ねています。成人看護学実習IIでは、今年度から看護計画の実践を振り返り、患者役の経験から得た思いも共有し習得しています。

今後も、社会貢献活動などを経験しつつ、学習が積み重ねられるよう支援していきます。



▲信頼される看護師に……



▲RFLの動画撮影「自分らしく生きることを楽しもう」をテーマに。



▲ストーリーのある健康教育を実施



▲学内実習の一場面

学科 Topics

06

理学療法学科9期生の
卒業研究発表会が開催されました

理学療法学科 講師 大野 洋一

理学療法学科では、各学生が在学中に興味を持ったテーマを一人一研究として、3年生後期より研究計画の立案を開始し、8月初旬の卒業論文完成に向けてゼミでの活動を進めてまいりました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研究データの測定が行えず発表会も中止となりました。

今年度も4年前期に予定していた学内でのデータ測定が危ぶまれましたが、学生達は研究計画の段階より、感染対策の準備をしっかりとし、それを厳密に実行することで予定通りにデータ測定を経験することができました。また、卒業研究発表会も今年度は2会場に分けて対面にて開催することができ、卒業研究活動の集大成となる晴れの舞台に立つてもらうことができました。本当に良かったと思っています。

今回、卒業研究を学ぶ過程で学生達が経験した「疑問を持つ」、「調べる」、「測定・介入する」、「結果を考察する」そしてまた「疑問を持つ」、このサイクルは理学療法を実施するうえでの本となる思考過程です。臨床に出ても研究は必要です。この経験は今後の理学療法士として活躍するうえで生かされ、本学科の教育目標である選ばれる理学療法士への成長に繋がる糧となってくれることと思います。



▲ストレッチによる介入風景



▲呼吸機能の測定風景



▲発表会の様子1



▲発表会の様子2

学科
Topics

07

「わたしたちは コロナに負けない」
子ども教育学科生活力向上委員会
の挑戦！
子ども教育学科 学科長 栗原 幸正

本学科には、学科創設時から「学生生活力向上委員会」という学生による組織が存在します。当初は学科内の仕組みや運営を学生の視点で評価・改善していくという方向性でしたが、学生による学生のための、学生による、学生の学びの質の向上や大学生生活全体のモチベーションのアップへの取り組みへと、学生のニーズに沿ってその活動の質を刷新してきました。

平成29年に開催したLGBTに係る研修会を皮切りに、「ダウン症の子どもを持つお母さんの話」「日航機墜落事故講演会」と当事者をお呼びしての、学生や教職員を対象とした研修会を継続的に実施してきました。令和2年度には、ZOOMを用いて、対面授業が出来ずに孤独化が懸念される1年生を対象に、「シャベリ場」を企画し、学生の心に栄養を届ける取り組みを行っております。

また、これらの取り組みとは別に、学生や近隣の子どものための「ゆとり」の空間や学内のボランティア活動のフィールドとして8号館3階の屋上整備の計画立案を行い、4年をかけて令和3年3月に「子ども教育学科天空ガーデン」としてその運用をはじめめる事を成し遂げてくれました。

今後も、子ども教育学科生活力向上委員会が、学生たちや教職員の夢と

希望の花火を打ち上げ続けてくれることを心より願っております。



▲ 天空ガーデン前の卒業記念写真



▲ シャベリ場



▲ 主催研修会（ダウン症について）

学科
Topics

08

農学部最上級生に意識高揚を図る
「就職対策講座」の開催
生物生産学科 キャリアサポート委員 教授 岡田 早苗

農学部生物生産学科は平成31年4月から新入生を迎え入れ、3年目の令和3年4月には最上級生が3年生となりました。3年生後期からは就職活動を本格化させなければなりません。新設学部であることから、3年生が先輩の就活の活動状況を目の当たりにすることがないことから、「就職をする」という意識をしっかりと抱いているかどうか、教員にとって一番の心配ごとでした。また学生たちが就職に対する意識をどこまで持っているかについても知りたいところでした。

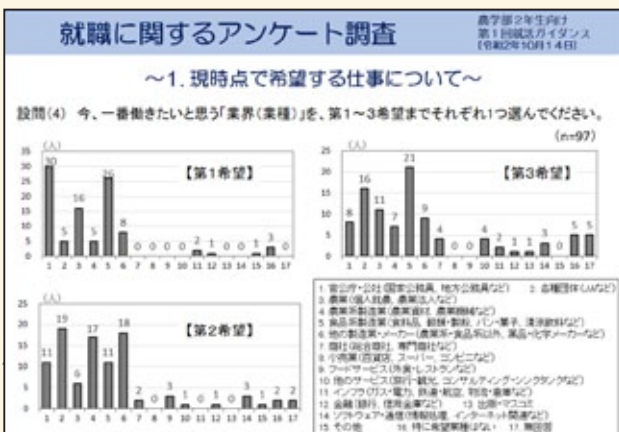
そこで、最上級生が2年生の時に就職への意識高揚を図るべく、「第一回就活ガイダンス」を令和2年10月に行い、学生たちの就職に対するアンケート調査を実施すると同時に、本格的に就職対策を始めるように促しました。このイベントは令和3年度以降も継続していく予定です。

令和3年6月には、企業や公的機関に就職し大学卒業して間もない就活経験者4氏から、経験談などのお話を聞く「就職対策講座」を複数回開催いたしました。また、就職活動に向けて、民間就職支援機関からの公務員対策講座やSPR対策講座などを実施し、さらにキャリアサポートセンターにおいて3年生前期の段階から個人面談や就職講座を実施していただくなどを通じ

て、キャリアサポートセンターの協力を得ながら学生への就職へ向けての指導を継続してきました。



▲ 就職対策講座（令和3年6月24日）招待講師の話を聴く3年生





国際交流センター 国際交流活動の報告

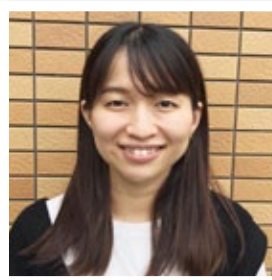


Online 交流

海外渡航が叶わない中、国際交流センターでは2020年度よりOnlineで海外や日本国内の外国人と繋がり、交流事業を行ってきました。交流先は1.ベトナム 2.フィンランド 3.ドイツ 4.本学留学生(韓国、ジンバブエ) 5.ブラジル 6.オーストラリアで、提携大学の学生や本学非常勤講師、海外研修の際、現地で協力いただいている看護師等、本学にゆかりのある人達です。学科学年を問わず誰でも申し込み、一回の交流に10人程の学生参加がありました。主に、国独自の医療福祉システムや教育の他、食、農、歴史、経済も含めた文化や人々の暮らしをテーマに発表、意見交換するといった内容です。特に新型コロナウイルス感染症の影響についてというトピックでは、ネットやメディアから得る情報とは異なり、学内の様子や町の様子、人々など、リアルな話には説得力があって、参加学生は驚きや疑問、日本とどう違うかという視点で多くの学びを得ています。また、海外に行くとなるとお金も時間も必要ですが、Online交流故に、気軽に参加できる良さもあるようです。

参加学生の声

Finlandとの交流でケニア出身のアバさんと出会いました。日本での留学、就労経験をお持ちでフィンランドの大学を卒業後、ヘルシンキの大学病院外科病棟で看護師として働きながら、現在大学院でも学んでいるそうです。当日も夜勤明けでしたが、明るく元気に話してくれました。交流内容も興味深かったのですが、こういった個人の経歴を聞いて、気持ちさえあればいつでも学ぶことはできるのだと、とても刺激を受けました。



看護学科3年
福島 優月さん

グローバルカフェ 特別編

外国人ゲストを招いて英語で交流する「グローバルカフェ」を一週間に一回行っていますが、この8月には、日本語で特別編として視覚障害者の方をゲストに盲導犬コニーと一緒に迎えました。アメリカ留学中に視覚を失い、現在はパーソナルコーチングをする傍ら、ご本人の経験を盲導犬福祉教室、講演会等で伝える活動をしておられます。バリアフリーや人々の関わり方で、海外と日本ではどんな違いを感じるのか等お話しいただき、また、県内で8頭のみという盲導犬との息の合ったやりとりを



実際にを見せていただきました。ハーネスを付けたらON、はずしたらOFFという切り替えも見事で、参加者にとって、コミュニケーションの大切さや多様さを改めて考える機会となりました。



Takasaki University of Health and Welfare

ベストティーチャー賞

BEST TEACHER AWARD

社会福祉学科
大口 達也
講師

身に余る賞をいただき、大変光栄です。日頃から、社会福祉学科の先生方、事務局の皆さんに支えられて、恵まれた環境で仕事ができていると感じています。自分の力が発揮できる環境で、ベストを尽くせるように頑張っているのは確かです。ありがとうございます。

コロナ禍で先行きが見えない状況ではありますが、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策本部や国家試験対策など、学内業務に積極的に取り組み、皆さまと協力して道を切り開いていきたいと思ひます。また、個人としても研究や教育をより精進して、大学の発展にも、より一層寄与していきたいと思ひます。

薬学科
大林 恭子
教授

自分には遠い存在と思っておりました賞を頂き、恐縮の極みです。臨床薬学教育センターの先生方、薬学部の先生方のお力なくては頂けない賞です。先生方には厚くお礼申し上げます。生きにくい社会で自利利他の精神に則り、己の幸せと共にすべての人々の幸せも考えられる人材をいかに育成するか、難題です。多くの人々が自利利他の精神を持つことができれば、どれほど社会が豊かになることでしょうか。教員の使命の重さに緊張し、自分の力量不足を痛感いたしております。少しでも学生の力になれるよう研鑽を積まなければならないと思っております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひいたします。

看護学科
倉林しのぶ
教授

この度は、大変名誉ある賞をいただき、心より感謝申し上げます。この受賞は、私ひとりの力ではなく、ご指導いただいている諸先生方や入職以来支援いただいている大学職員の皆様のお陰と思っております。また、本学で16年間教員を続けてこられたのは、共に成長し、4年後には看護職として巣立っていく学生たちの力が後押ししてくれていたと感じています。「無知の知」を座右の銘に、教育・研究に一層精進していきたいと思ひます。まだまだ、至らない点ばかりですが、今後ともご指導いただきたくよろしくお願ひ致します。有難うございました。

子ども教育学科
村田 美和
講師

このたびは、名誉ある賞をいただき、身に余る光栄に存じます。健大は、素直で前向きな学生が多く、授業では学生の皆さんと意見を交わすことを、毎回楽しみに臨んでいます。そんな素敵な学生の皆さんの「ティーチャー」という立場であることができる、この環境に、深く感謝申し上げたい気持ちです。

学校教育現場では今、ICT化に伴い、大きな変革が起きています。子ども教育学科の教員として、新しい社会を見据えた教育の在り方を自ら考え、実践できる人材を育めるよう、今後も精進して参りたいと思ひます。

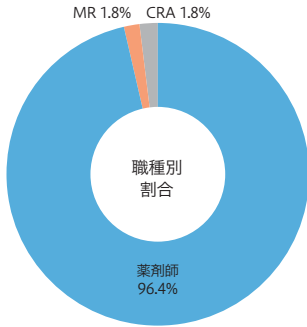


Congratulations



◀後列左から、大口講師、村田講師
前列左から、倉林教授、大林教授

薬学部 薬学科



◎病院

群馬大学薬学部附属病院 2名/群馬県立病院/前橋赤十字病院/済生会前橋病院/地域医療機能推進機構/公立藤岡総合病院/東邦病院/西毛病院/宇都宮記念病院/多摩丘陵病院/東京品川病院

◎調剤薬局
ドラッグストア

アインホールディングス 11名/日本調剤 8名/総合メディカル 3名/クラフト 2名/ファークス/イオンリテール/中央薬局グループ/飛鳥薬局/トモズ/サンファーマシー/アーネクト/わかさ調剤薬局/ウエルシア薬局 3名/スギ薬局 2名/サンドラッグ/富士薬品

◎企業

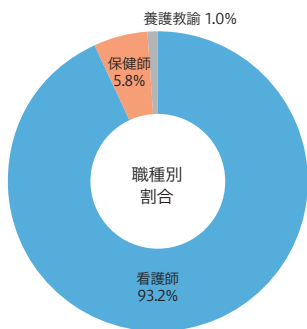
群馬県薬剤師会/エーザイ/IQVIA サービスズジャパン

◎官公庁

群馬県

就職率: 100%

保健医療学部 看護学科



◎大学病院

群馬大学薬学部附属病院 9名/東京大学医学部附属病院/防衛医科大学校病院/信州大学医学部附属病院 3名/自治医科大学附属病院 2名/自治医科大学附属さいたま医療センター 5名/東京慈恵会医科大学附属第三病院/東邦大学医療センター大森病院 3名/東京医科大学八王子医療センター 3名/獨協医科大学埼玉医療センター/聖マリアンナ医科大学病院/聖路加国際病院

◎公立病院

群馬県立病院/埼玉県立病院 3名/伊勢崎市民病院 5名/公立藤岡総合病院 2名/新潟市民病院

◎一般病院

<県内>前橋赤十字病院 7名/済生会前橋病院 2名/日高病院/東邦病院 2名/黒沢病院/前橋協立病院/西毛病院/角田病院/イムス太田中央総合病院
<県外>虎の門病院/佐久総合病院 3名/竹田総合病院/足利赤十字病院 5名/那須赤十字病院/済生会宇都宮病院/済生会新潟病院/横須賀共済病院/埼玉病院/東埼玉病院 2名/上尾中央総合病院/戸田中央総合病院/イムス富士見総合病院 3名/篠ノ井総合病院 2名/長野中央病院 2名/鹿教湯三才山リハビリテーションセンター/埼玉協同病院 3名/熊谷総合病院/圏央所沢病院/東川口病院/新潟南病院/木戸病院/東戸塚記念病院/伊豆今井浜病院

◎学校教育

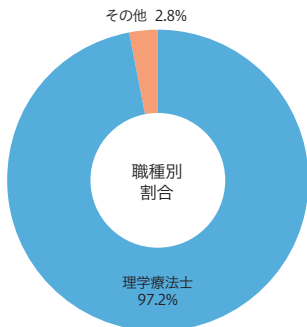
群馬県

◎官公庁

福島県/前橋市 2名/桐生市/本庄市

就職率: 100%

保健医療学部 理学療法学科



◎病院

<県内>済生会前橋病院/前橋協立病院/関越中央病院/井上病院/日高病院/利根中央病院/北毛病院/上牧温泉病院/榛名荘病院/石井病院/堀江病院/恵愛堂病院/イムス太田中央総合病院/剣持整形外科/東邦病院/公立館林厚生病院
<県外>佐久総合病院/相澤病院/長野市民病院/羽生総合病院/圏央所沢病院 2名/上尾中央総合病院/佐野厚生総合病院/鶴川サナトリウム病院/荒川整形外科リハビリテーションクリニック/江東リハビリテーション病院/本庄総合病院 2名/佐々木病院/伊奈病院/新潟中央病院

◎福祉施設

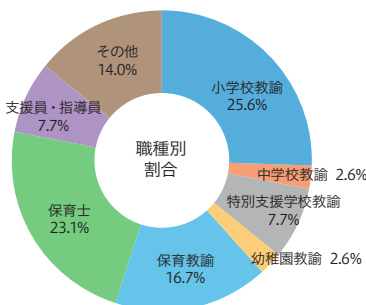
エムダブルエス日高/介護老人保健施設太陽/介護老人保健施設市川ゆうゆう

◎企業

ウェルネスフロンティア

就職率: 100%

人間発達学部 子ども教育学科



◎学校教育

<小学校>群馬県 3名/埼玉県 7名/栃木県/新潟県 3名/福島県/神奈川県/沖縄県/横浜市/深谷市 2名/伊勢崎市/榛東村
<中学校>群馬県 2名
<特別支援学校>前橋市/埼玉県 3名/栃木県/福島県

◎公立幼稚園

高崎市/榛東村

◎公立保育園

高崎市/前橋市 2名/桐生市/小諸市/信濃町/長岡市/蕪市

◎私立/幼稚園
認定こども園
保育園

<県内>さくら幼稚園/ひよこプリスクール/フェリーチェ国際こども園/あさひ幼稚園/すみよし幼稚園/国分寺幼稚園/山王幼稚園/新明幼稚園/桃瀬幼稚園/二子山幼稚園/おひさま飯塚保育園/すみれものがたり/慈光なないろ保育園/あすなろこども園
<県外>あすみ福祉会 3名/第二薬師寺幼稚園/木下の保育/さくらさくらみらい

◎福祉施設

児童養護施設鐘の鳴る丘少年の家/児童養護施設アリスとテレス/埼玉県社会福祉事業団 2名/児童発達支援&放課後等デイサービスけいさばはうす/しもかわふち児童クラブ/すまいるネット南魚沼/ベネッセスタイルケア

◎企業

JA共済群馬/ SOMPOシステムズ/群馬トヨペット/トヨタカラー高崎/群馬ダイハツ自動車/TDモバイル/コプロ・エンジニアード/マルハン

◎官公庁

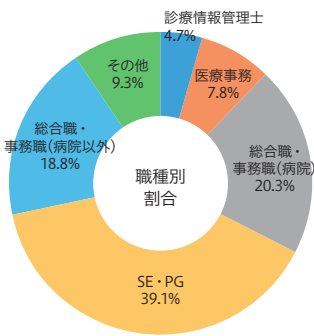
法務省(刑務官)

就職率: 100%



令和3年3月卒業生就職内定先一覧(令和3年4月1日現在)

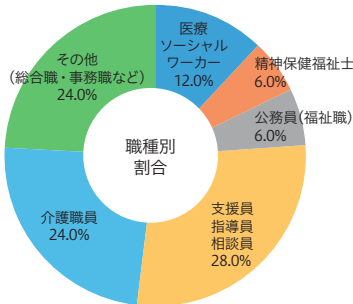
健康福祉学部 医療情報学科



- ◎病院 北里研究所 2名/自治医科大学附属病院/埼玉医科大学 2名/前橋赤十字病院 2名/渋川医療センター/伊勢崎市民病院/埼玉県済生会川口病院/深谷赤十字病院/IMS グループ 2名/戸田中央医療グループ/本庄総合病院/武蔵嵐山病院/田宮病院/高崎佐藤眼科/関東脳神経外科
- ◎企業(メディカル系) カワチ薬品 2名/クスリのアオキ/日本調剤/メディファーマー
- ◎企業(システム系) NTT 東日本グループ 3名/コンピュートロン 2名/クライム 2名/東京コンピュータサービス/医療システムズ/ナブアシスト/マクロ/リード/日本情報産業 2名/アイズテクノロジー/エイ・ケイ・システム/エーシーエス/ケイ開発/シーエスアイ/タック/フォーカスシステムズ 2名/中央コンピュータシステム/日立社会情報サービス/富士通ビー・エス・シー
- ◎企業(一般) 全農エネルギー/高崎市農業協同組合/東京海上日動パートナーズ EAST/群馬トヨペット 2名/GN ホールディングス/セコム/セコム上信越/ニチイ学館/フジアルテ/佐藤産業/プリヂェストンタイヤ高崎販売/友商
- ◎福祉施設 エムダブルエス日高/特別養護老人ホームはなぞの
- ◎官公庁 高崎市等広域消防局

就職率: **98.5%**

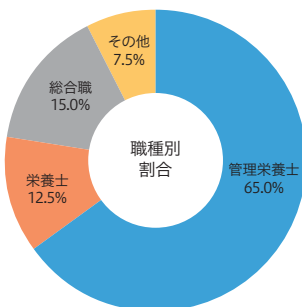
健康福祉学部 社会福祉学科



- ◎病院 サンピエール病院/上毛病院/伊勢崎佐波医師会病院/黒沢病院/角田病院/佐野厚生総合病院/湘南鎌倉総合病院/イムス三芳総合病院/小山記念病院/西熊谷病院
- ◎福祉施設 新生会 2名/宏志会/エムダブルエス日高 3名/しんまち元気村/邦知会/フランシスコの町/児童養護施設地行園/茶の花福祉会/SKYケアサービス/南東北福祉事業団/永寿荘 2名/葛葉学園/特別養護老人ホームサンライフ問屋町/特別養護老人ホームタマビレッジ/特別養護老人ホームローズビル/特別養護老人ホーム長寿荘/福祉楽団/放課後等デイサービスつばさメイト/豊進/本庄ひまわり福祉会/明日葉
- ◎企業 ぐんまみらい信用組合/ベシア/エーコープ関東/ワールドインテック/第一工業/共立メンテナンス/大渡自動車学校/柳瀬橋自動車教習所/ケーショップ/岡崎牧場/イオンスタイル佐野新都市
- ◎官公庁 群馬県 3名/太田市

就職率: **98.0%**

健康福祉学部 健康栄養学科



- ◎病院 群馬リハビリテーション病院/東邦病院 3名/第一病院 2名/黒沢病院/堀江病院/イムス太田中央総合病院/済生会宇都宮病院 2名/羽生総合病院/総合南東北病院/東川口病院/うけがむ歯科元郷/横浜弘明寺呼吸器内科・内科クリニック
- ◎受託給食会社 日清医療食品 8名/LEOC7名/エームサービス 3名/富士産業 3名/一富士フードサービス 2名/シダックス 2名/日京クリエイト 2名/イフスコヘルスケア/ベネミール/ミールケア
- ◎調剤薬局 ドラッグストア ウエルシア薬局 3名/クスリのマルエ/クスリのアオキ/マツモトキヨシ 2名/マツモトキヨシ東日本販売/アイリスファーマ/イデアール/フォーラル/やまとメディカル
- ◎福祉施設 苗場福祉会 3名/はんな・さわらび保育園/希望館/介護老人保健施設やまぶき/介護老人保健施設旭ヶ丘/宏和会
- ◎保育園 認定こども園 上滝こども園/にしきの保育園よろくぶ/やさか保育園/めぶきの森/中央大橋保育園/リトルやまゆり保育園/和光プライムスター保育園/ちとせ交友会/日本保育サービス 2名
- ◎企業 デイリーフーズ/コープみらい/ Mountain bull
- ◎官公庁 甘楽町

就職率: **100%**

Topics
01

コロナ禍におけるボランティア活動

新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティア・市民活動支援センター(VSC)も大きな影響がありました。これまで学生には、人とのコミュニケーションやかかわりを学び、学生ならではの力を社会で発揮する機会としてボランティア活動を推奨してきました。しかし、「3つの密」を避ける配慮は、従来のボランティア活動のあり方を根本的に見直す必要に迫られるものでした。

当然のことながら、これまで学生が参加していた施設・病院からボランティア依頼はなくなり、イベント等も延期や中止になりました。それでもコロナ禍で活動できることについて、学生とともに考えてきました。この1年半、どんなボランティア活動に取り組んできたのか一部を紹介します。

①おうちでできる活動

昨年度に大学が入構禁止になったとき、家でもできる活動はないか考えてみようというVSCから学生に声をかけました。学生は自宅でできる活動として古着を送る活動やヘッドネーションなどにチャレンジ。分散登校が始まったときに、家で集めたリサイクル資源を学内でとりまとめ寄贈する活動を提案したところ、学生が主体になって取り組んでくれました。

②オンラインを利用した活動

施設や団体と学生とのオンライン交流の活動に取り組みました。今まで対面で実施していた遊びや音楽、被災地との交流などをオンラインに切り替えることで活動が継続できました。

③メッセージなどを通じた交流

これまで学生が交流してきた高齢者や子どもたちへ、季節の葉書やメッセージカード、手作りの遊び道具を贈りました。子どもたちからは礼状をいただきました。

これらの具体的な活動は、健大ブログ(ホームページ→VSCのページ→ブログを選択)に掲載しておりますので、よろしければご覧ください。



VSCでは、県の警戒度が下がったときには対面での活動もコーディネートしています。ボランティア活動は多くの出会いを生み出します。そこからの広がりは無量大です。感染症対策を講じながら、学生の学びと活動のメリットをどのように維持・発展させるかを考えて学生をサポートしていきます。



▲健大ブログ/VSC トップページ

Topics
02

大学院農学研究科 博士前期課程(2年)と博士後期課程(3年)の同時開設について

平成31年4月の農学部の開設から3年が経過しました。この間、群馬県やJAグループ群馬、群馬県食品工業協会、千葉大学、地元企業などと相互連携協定を締結し、活発な教育・研究活動を行ってきました。

この度、学部から大学院までの一貫した教育・研究と、地域に貢献するための社会人を対象とした大学院での教育・研究を実施するために、学部の完成年度よりも一年早く、大学院農学研究科生物生産学専攻、博士前期課程(2年)及び博士後期課程(3年)の同時設置の申請を文部科学省に行い、令和4年4月の開設が認可されました。

大学院農学研究科では、「人類の健康と福祉に貢献する」という本学建学の精神のもと、食と農の基礎から生産・加工に関わる先端技術、さらには、社会実装にいたるまで、幅広く学ぶ本学農学部の理念を一層拡充し、より高度で先端的な研究を実施しつつ、高度専門職業人や研究者を養成していきたいと考えています。このため、今後、学部からの進学希望者は勿論のこと、研究・開発に携わる社会人の方々も積極的に迎え入れることができると考えています。

大学院組織や教育・研究、及び入試等の詳細については、逐次本学ホームページに掲載します。また、新たに、各研究室のホームページも開設しますので、参考にして頂ければ幸いです。



Topics

03

北京オリンピックに向けて 新濱立也 (スケート競技)



新型コロナウイルスが増加する中、夏季東京オリンピック、パラリンピックが終了しました。

1年延期になった東京オリンピックが終了した現在、私たち冬季スポーツ選手にとって最大の目標である冬季オリンピック北京大会はもうすぐ目の前です。

そして、現在日々トレーニングしている内容が北京オリンピックの結果に直接結びついてくる最も重要な時期であると認識しています。

現在、私は日本スケート連盟ナショナルチームの中で、チーム内での競争そしてオリンピックで戦うであろう世界のトップスプリンターの姿を念頭に置き、しかし、焦ることなく自分のやるべきことをやりつくしてオリンピックのスタートラインにつくことだけを考えトレーニングに向き合っています。

思い起こせば、昨年日本チームはワールドカップを始め国際大会への不参加を決めました。世界で勝つことを目標としている私にとって、世界の状況がわからないという不安の中で国内大会を戦う1年を過ごしました。ライバルになる事が予想される選手、新たに台頭した選手の事を思いながら、モチベーションを保つことの難しさを痛感した1年でした。

昨シーズンが終了し、勤務先である高崎健康福祉大学に戻り、職場の皆さんの温かい心や、まだまだ未熟な、しかし熱く希望に燃えた大学スケート部の学生と接する中で、オリンピックシーズンに向け初心に戻る気持ちが沸々と沸き上がり、すがすがしい気持ちで5月からのナショナルチームの活動に合流することができ、皆さんから勇気を頂いたと思っています。

5月から帯広市を拠点として、3週間から4週間で単位として、沖縄、帯広、網走と理想的なトレーニング環境を求めて陸上での強化トレーニングを順調に消化してきました。氷上でのトレーニングは7月中旬から8月の約50日間、そして9月から3週間は恒例の高地菅平での陸上合宿を実施しています。10月22日には、ワールドカップ前半戦の選考会が長野市エムウエーブで開催されます。北京オリンピックに向け年内の国際大会の中で着実に成果を上げ、自信をもってオリンピックを迎えるために1日1日を充実して過ごしていきたいと考えています。

Topics

04

高崎健康福祉大学スケート部の現状

入澤孝一 (スケート部監督)

高崎健大スケート部は、4月～7月までの学校内での陸上トレーニングを経て、8月から八戸での氷上合宿に取り組んでいます。9月から帯広に移動する予定でしたが、コロナ感染症非常事態宣言の発令により帯広での大会が急遽中止となり、八戸に留まり約50日に渡る長期合宿を実施しました。合宿期間中の公式戦として八戸サマー競技大会への出場や、トレーニングの中間評価として技術的な測定を実施しました。特に8月23日～29日までの1週間に渡るマイオモーションの測定には、理学療法学科の富田先生を中心として、本学大学院を修了した飯塚智樹君、そして県内病院で理学療法士として勤務している、磯卓摩君と橋本萌生君の医科学チームが測定、そして結果のフィードバックに活躍してもらいました。スケート部の卒業生が社会で活躍する様子を含めて現役学生にとって大きな刺激になったと感じています。

さらにこの期間には、「タバタトレーニング」で著名な田畑泉先生(立命館大学教授)にもお越しいただき最新のスポーツ科学情報を始め、多くの示唆を得ることができました。

合宿期間中、午前2時間、午後2時間のトレーニングを通じて、技術や体力の向上があることは当然のことですが、何より約50日間、ハードトレーニングに耐えられた選手諸君の精神力を賞賛したいと思います。10月末のワールドカップ選考会を皮切りに、3回実施される選抜競技大会、全日本学生選手権、世界ジュニア選考会。そして12月末のオリンピック選考会、1月の日本学生氷上競技大会(インカレ)と緊張した試合が連続します。国内大会での上位入賞を含め、悲願の現役大学生の日本代表を目指しスタートする時期が近づいてきました。引き続きご支援をお願いします。



令和2年度 学校法人 高崎健康福祉大学 決算報告

令和2年度資金収支計算書 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：千円)		(単位：千円)	
科 目	決 算	科 目	決 算
学生生徒等納付金収入	4,600,852	人件費支出	3,387,605
手数料収入	80,961	教育研究経費支出	1,799,648
寄付金収入	52,601	管理経費支出	390,445
補助金収入	1,218,677	借入金等利息支出	0
資産売却収入	12,907	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	230,525	施設関係支出	22,221
受取利息・配当金収入	27,689	設備関係支出	226,463
雑収入	102,452	資産運用支出	495,512
借入金等収入	0	その他の支出	194,044
前受金収入	663,239	資金支出調整勘定	△ 70,121
その他の収入	253,245	次年度繰越支払資金	2,308,849
資金収入調整勘定	△ 811,505		
前年度繰越支払資金	2,323,023		
収入の部合計	8,754,666	支出の部合計	8,754,666

令和2年度事業活動収支計算書 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：千円)		(単位：千円)		(単位：千円)	
科 目	決 算	科 目	決 算	科 目	決 算
◆教育活動収支		◆教育活動外収支		◆特別収支	
学生生徒納付金	4,600,852	受取利息配当金	27,689	資産売却差額	2,606
手数料	80,961	その他の教育活動外収入	0	その他の特別収入	42,273
寄付金	52,601	教育活動外収入計	27,689	特別収入計	44,879
経常費等補助金	1,188,897			資産処分差額	13,744
付随事業収入	230,525			その他の特別支出	0
雑収入	102,452			特別支出計	13,744
教育活動収入計	6,256,288			特別収支差額	31,135
		借入金等利息	0	基本金組入前当年度収支差額	120,358
		その他の教育活動外支出	0	基本金組入額合計	△ 289,359
		教育活動外支出計	0	当年度収支差額	△ 169,001
人件費	3,387,605			前年度繰越収支差額	△ 5,032,584
教育研究経費	2,373,042			基本金取崩額	0
管理経費	434,025			翌年度繰越収支差額	△ 5,201,585
徴収不能額等	82			(参考)	
教育活動支出計	6,194,754			事業活動収入計	6,328,856
		教育活動外収支差額	27,689	事業活動収支計	6,208,498
教育活動収支差額	61,534	経常収支差額	89,223		

令和2年度貸借対照表 (令和3年3月31日)

(単位：千円)		(単位：千円)		(単位：千円)	
科 目	本年度末	科 目	本年度末	科 目	本年度末
◆資産の部		◆負債の部		◆純資産の部	
固定資産	15,081,350	固定負債	679	基本金	21,916,793
有形固定資産	11,299,524	流動負債	818,250	繰越収支差額	△ 5,201,585
特定資産	2,200,000				
その他の固定資産	1,581,826				
流動資産	2,452,787			純資産の部合計	16,715,208
資産の部合計	17,534,137	負債の部合計	818,929	負債及び純資産の部合計	17,534,137

令和2年度財産目録 (令和3年3月31日)

(単位：円)		(単位：円)		(単位：円)	
科 目	2年度末	科 目	2年度末	科 目	2年度末
(1)資産総額	17,534,137,093			(8)仮払金	589,245
1.基本財産	11,299,523,866	2.運用財産	6,234,613,227	(9)電話加入権	952,358
(1)土地	131,327.15㎡	(1)預金・現金	2,308,849,051	(10)施設利用権	3,177,104
(2)建物	66,230.64㎡	(2)特定資産	2,200,000,000	(11)出資金	600,000
(3)構築物	333,166,065	(3)保険積立金	582,634,446	(12)敷金	9,281,901
(4)図書	164,473冊	(4)有価証券	753,208,109	(13)ソフトウェア	3,667,870
(5)教具・校具及び備品	28,718点	(5)未収入金	127,639,980	(14)収益事業元入金	211,344,107
(6)その他(車両)	2,833,582	(6)立替金	5,852,856	(15)長期貸付金	16,960,000
		(7)前払金	5,616,200	(16)短期貸付金	4,240,000
(2)負債総額	818,928,751				
1.固定負債	679,428	2.流動負債	818,249,323		
(1)長期未払金	679,428	(1)未払金	67,400,845		
		(2)前受金	663,239,480		
		(3)預り金	87,608,998		